注目製品
レポート

レジャーホテルオーナー待望の 地デジ対応浴室テレビが登場!!

――開発から製造まで、“MADE IN JAPAN”にこだわった 新テレビブランド「iiza（イーザ）」 液晶防水テレビの魅力に迫る

■中野エンジニアリング㈱

総務省の広報によって大方が知るとおり、2011年７月24日、テレビの視聴方法がアナログ放送から地上デジタル放送に切り替わる。そうなると、レジャーホテル業界でも地デジ対応は急務となるわけだが、見落しされがちなのが「浴室テレビ」の地デジ対策である。

こうしたなか今年６月、中野エンジニアリング㈱から14型地デジ対応浴室テレビ「iiza液晶防水テレビ」がいよいよ市場に投入される。

浴室テレビの次世代モデルともいうべき同製品の魅力について、同社代表取締役社長である中野勇氏をはじめ、開発に携わった担当者に開発秘話、さらにはその魅力についてお話を伺った。

国内有力メーカーの モニター開発ノウハウを 活かして誕生した「iiza」ブランド

1987年４月に設立された中野エンジニアリング㈱（本社所在地：福井県福井市）は、創業当初から産業用CRTモニター開発のほか、国内有名メーカー（アイワ、東芝、船井電機、日本ビクターなど）のCRT／LCDの設計業務に参画してきた。また、04年２月には魚群探知機の老舗メーカーである扶桑海洋電子㈱を買収、「FUSO」ブランドを継承して開発・販売を行なうなど、テレビモニター開発と魚群探知機開発で得た防水技術は業界内外から高い評価を得ている。

こうした背景のもと、「これまで国内外メーカーのCRT／LCDモニターなどの開発に携わっておりましたが、今後は自社ブランドによる市場開拓を目指し、さらなる飛躍を遂げたい」（同社代表取締役社長 中野勇氏）との思いで、同社オリジナルテレビブランド「iiza」を誕生（イーザは福井弁で「良い（Good）」という意味）させている。

同ブランドのなかでも注目されるのが、先述したように同社が長年にわたって培ってきたテレビ開発のノウハウと、魚群探知機開発で得た防水技術が注ぎ込まれた「iiza液晶防水テレビ」である。

同製品の最大の特徴は、モニター画面の曇り対策にある。「レジャーホテルは、快適なアメニティ空間が要求されるため、モニター画面の曇りはクレーム対象になってしまいます。当社では、通常環境ではあり得ない急冷試験を何度も繰り返し行なうことで、モニター画面の曇り対策を検証し、レジャーホテル内の通常の使用環境ではほぼ曇らない状況にまで精度を高めております」（技術部設計３課 課長 今村高宏氏）。

「iiza」ブランドの開発に携わった同社スタッフ（左から内田俊之氏、今村高宏氏、清水靖詞氏）

さらに、同製品にはタッチパネルスイッチが採用されているが、「浴室テレビにタッチパネルスイッチを採用する場合、実は高度な技術が要求されるのです。というのも、シャワーや利用者が誤ってかけたお湯に反応してしまうリスクを伴うからです。このため、浴室テレビにはボタンスイッチが採用されることが多いのですが、当社ではこうした誤作動を排除する独自技術でタッチパネルスイッチを採用しています」（技術部設計２課 課長 内田俊之氏）と、手抜かりはない。

加えて、「ボタンスイッチの場合、スイッチ部にカビなどの付着する問題が発生しますが、タッチパネルスイッチであれば凹凸のないフラットなモニターを実現できますので、清掃・メンテナンスも効率的に行なえますし、カビの問題もクリアできる」（内田氏）としており、ま

今年6月に発売される
14型「iiza液晶防水テレビ」
（WP-1400）

■ [iiza]14 型液晶防水テレビ（WP-1400）の仕様

外形寸法	モニター：W374×H293×D31㎜
	電源・チューナーボックス：W160×H232×D69.6㎜
受信チャンネル	地上デジタル 000 ～ 999チャンネル
	（CATV パススルー方式対応）
	地上アナログ
	VHF:1 ～ 12 チャンネル
	UHF:13 ～ 62 チャンネル
	CATV:13 ～ C63 チャンネル
画面サイズ	14 型ワイド（301.4×187.6㎜）
	（画素数）1280×800（16:10）
スピーカー	1W×1W（Φ 28㎜×2 個）
使用電源	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	36W:0.78W

年間消費電力	53KWh/年
防滴仕様	モニター：IPX5級
	リモコン：IPX7級相当
使用周囲温度	0℃～ 50℃
保存温度範囲	-20℃～ 70℃
A/V入力	映像、音声 L/R 2系統
オーディオ出力	L/R　1系統（音量可変）
EPG(電子番組表)	最大 48時間まで
付 属 品	電源・チューナーボックス／モニター、取付ネジ／モニター取付金具、取付ネジ／モニター接続中継ケーブル 7m ／リモコン／リモコンホルダー／取扱説明書／施工要領書

さにレジャーホテル向けの製品仕様といえるだろう。

ちなみに、防水性についてはモニター画面がIPX5級（あらゆる方向からのノズルによる噴流水を受けても有害な影響がないレベル）、リモコンはIPX7級（水中に没しても有害な影響を生じる量の水の侵入がない）相当と、いずれも高い防水性を実現している。さらに、奥行きはわずか31㎜と極限まで追求した薄型設計となっており、浴室空間のイメージを損ねないデザイン性の追求も図られている。

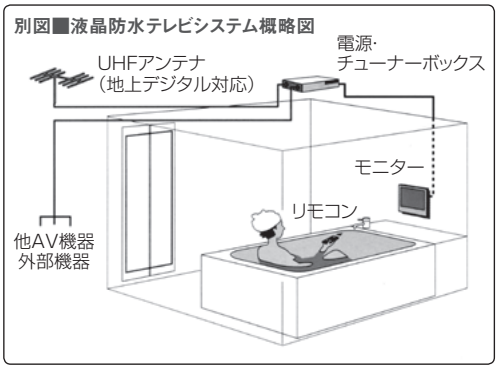
そのほか、地デジ対応ならではの高精細のハイビジョン画質や、業務用電源・チューナーボックスにB-CASカードを内蔵しているため、カードユニットの設置場所を確保する必要もない。また、同社ではこれまで数多くのテレビを病院やホテル向けに開発・納品してきた実績から、業務用に欠かすことのできないホテルモード対応も行なえるなど、魅力溢れる製品となっている。

安価供給で市場への普及を図り、浴室テレビのトッププランドを目指す

とはいえ、一般的に浴室テレビは高価なイメージが強く、地デジ対応となっている同製品はさらに高価なものとして思われるオーナーも多いだろう。しかし、「これまでの“浴室テレビは高い”というイメージを覆すべく、安価で供給をさせていただく予定です」（営業部 課長 清水靖詞氏）と語るように、従来の浴室テレビより安価で販売を行なうとしている。

導入に関する施工についても、7mの中継ケーブルを標準付属（モニター／BOXケーブルを合わせると全長約8m）し、一般的なレジャーホテルへの設置であっても設置場所に困らない（設置、既存配線状況によって異なる）としており、通常営業を行ないながらの対応が可能であることも大きな魅力である（**別図参照**）。

別図■液晶防水テレビシステム概略図



また、メンテナンス体制も「テレビ開発でおつきあいのある日本ビクターのメンテナンス会社との提携により、すでに全国約30か所のサービス拠点を整備してあります」（清水氏）とのことで、国内フルカバーのメンテ体制も構築ずみである。

デジタル放送開始前の発売ということもあり、同製品に対する期待の高まりが予想されるが、なによりも「設計から製造までを純粋なMADE IN JAPANにこだわったテレビブランドとして『iiza』を定着させるとともに、レジャーホテル業界の快適なアメニティ空間演出をお手伝いしたい」（中野社長）と明言するように、同社ではレジャーホテル業界における浴室テレビのトップブランド構築に邁進していく考えである。

同社では、今回発売する14インチサイズのほか、17インチモニターの発売も予定しており、今後はニーズに応じてさまざまなバリエーションの製品ラインアップも視野に入れていきたいとしている。

「越前塗り蒔絵」和の調べ

同社では、越前塗り（河和田塗り）メーカーとコラボレートした漆器調デザインの地デジ対応液晶テレビなどの販売も行なうなど、旅館・ホテル向けの小型テレビ（16・19型）の開発も行なっている

問合せ

中野エンジニアリング㈱
所在地及び連絡先：
（大阪営業所）
大阪府東大阪市足代3-1-7 布施南ビル601
TEL.06-6720-3344 FAX.06-6720-3399
URL http://www.nakanoeng.com